大阪狭山市まちづくり大学

「大阪狭山市 災害ボランティアネット」 について

社会福祉法人

大阪狭山市社会福祉協議会福祉センター長主幹 松井康祐

本日の流れ…

- ●災害とは...
- ・災害ボランティア活動とは...
- 災害ボランティアセンターとは...
- 少しビデオをご覧ください...
- これからの防災(いちばん大事なこと)
- 災害ボランティアネットについて
- 参考資料





改めて、「災害」とは…

何時やってくるか解らない... 消防も自衛隊も警察も行政も、誰も来ない...



人命や社会生活に対して 被害を生じる現象

災害ボランティア活動とは...

- ・ 台風による風水害や地震 災害時に、被災者の支援に あたる活動を"災害ボラン ティア活動"と言います
- すべての活動は"被災者支援"が基本です。
- 阪神淡路大震災での活動が"ボランティア元年"と呼ばれ、最近では社会的にも大きな力を発揮し、被災者支援活動の大きな役割の一つとなっています



そして、Vと被災者を繋ぐのが...





「災害ボランティアセンター」

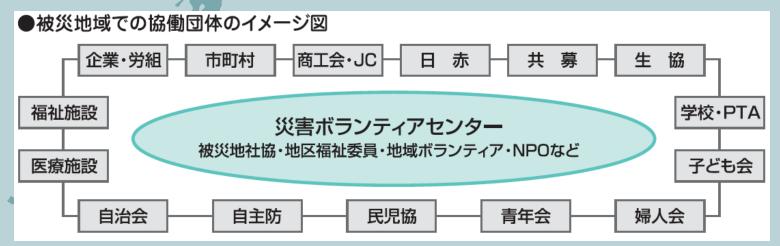
なのです!

災害ボラセンの目的と役割

<u>災害ボランティアセンターの活動目的は、被災者・被災地を主体としながら</u>ボランティアの協力を得て、地域の復興につなげていくことです

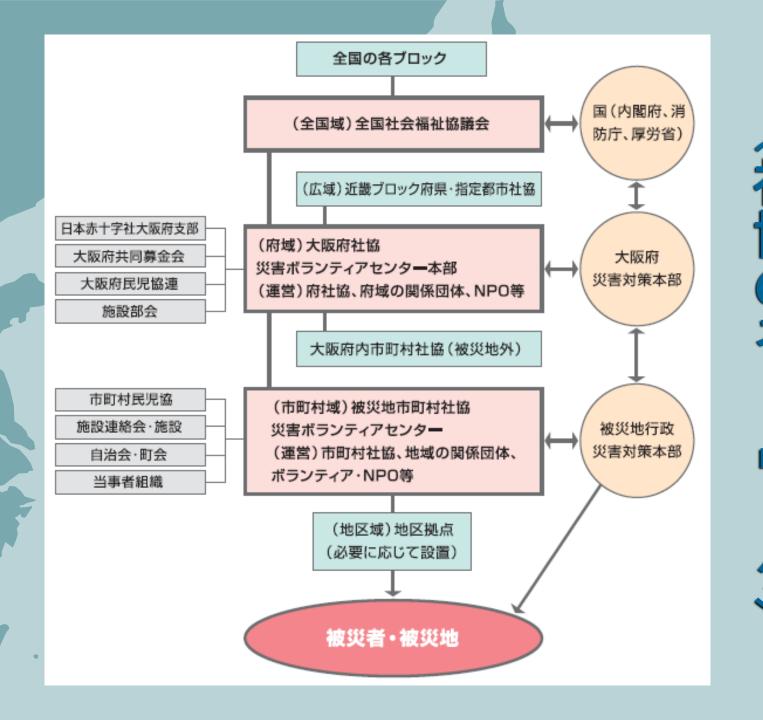


災害ボランティアセンターは、協働の場として様々な企画・計画を実施してい く際の中核的な存在としての役割を期待されています



なぜ社協が担うのか...

- 日ごろから地域福祉の推進役として地域住民・各種団体とともに連携している
- ・地区福祉委員会、民生委員児童委員等とともに小地域ネットワーク事業を展開している
- 要援護支援の取り組み、対応を行っている
- 行政機関と十分に連携をしている
- 日ごろからボランティアセンターを運営し、 様々な団体と協働の実践をしている
- 全国の社協ネットワークをもっており、人的、 物資的支援を活用できる



設置するために普段から...

- 設置する意義の理解・共有
- ●職員の参集・連絡体制
- ●役割・職員配置数・担当者
- ・設置場所・資金・資材の確保
- ・SVCの位置づけや役割分担の調整
- 何よりも、地域の皆さんとの連携協働



ボランティア派遣先に偏り 福知山、台風被害で



畑に流れた木くずを取り除くボランティアたち(福知山市土)

台風18号による大雨で浸水被害を受けた福知山市で、21 日からの3連体に活動した4104人のボランティアの派遣先に 大きな偏りがあったことが23日、市災害ボランティセンターの 集計で分かった。被災直後から派遣要請があった戸田地区に は6割にあたる人々が入ったが、隣接の2地区は戸田以上の 浸水戸数にもかかわらず、1割以下にとどまった。自治会の要 請だけに基づく派遣だったため、同センターは「ニーズに漏れ がある」として、24日から個人の要請を受け付けることにした。

福知山市では、由良川が氾濫し、約960戸が床上・床下浸水した。各自治会によると、戸田地区は96戸、南西に隣接する土(つち)地区も102戸、南隣の石原(いさ)地区は185戸が被害を受けた。

市社会福祉協議会は、18日にボランティアセンターを立ち上げてボランティアの受け付けを開始。各自治会長の要請に基づき派遣先を振り分けてきた。

同センターの集計によると、21日からの3日間で戸田地区には2625人のボランティアが入ったが、土地区は329人。石原地区は3人だった。

戸田地区の自治会長(65)は「被害の状況から、復旧は住民だけでは無理。できる限り多くの人の支援が必要だ」と言う。

土地区の自治会長(65)は「床下浸水の家よりも、床上浸水した71戸を中心に要請した」とし、石原地区の自治会長(66)は「被災直後から、被害を受けなかった地区内の住民らに復旧作業を応援してもらい、自治会として要請しなかった。個人で依頼してもらっている」と説明する。

しかし、土地区の主婦(64)は「自治会役員が被害の実態を正確に把握していないのでは。ボランティアの数(こ差があり、地区が忘れられている」。石原地区の男性(68)は「親類に来てもらったが、やることは多く身内だけでは無理。ボランティアに助けてほしい」と話す。

これに対し、市災害ボランティアセンターは「今後は個々の要請や復旧状況に応じてボランティアを派遣したい」としている。



災害直後に求められること 3、3、3の原則

30分 自分の生命を守る

- 3時間
- 1. 近隣の生命を守る
- 2. 安全な場所への避難
- 3. 災害対策本部の素早い立上げ
 - 4. 被災状況の確認
 - 5. 被災被害の情報の収集・発信
 - 6. 災害対応策の検討

3 日

- 1. より安全な場所での避難生活
- 2. ライフラインの復旧
 - 3. まちの機能の復旧

みなさんに求めるもの(役割)

- ・ボランティアの定義の理解
- 災害ボランティアセンターの理解
- "自分がしなければ"ではなく繋ぐカ
- 日ごろから"受援力"を高める
- 街の復旧・復興に貢献する
- 防災→減災への取り組みを推進

番大事なこと 発 災 防災のまち 地域の助 づくり・地 け合い 域福祉活動 災 救急救命 防 被災者中心 消防・レス まちづく キューなど り・対話 専門機関 復興 復 災害VC· 避難所

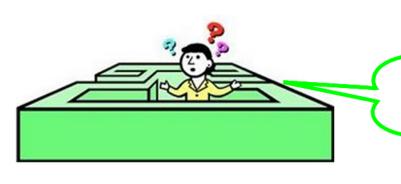
ここで本日の本題...

- ●大阪狭山市では
 - 福祉G、危機管理G、市民協働Gと協力し、
 - 「災害ボランティアネット」を立ち上げ、普段から顔の見える関係作りを進めています

- ●今、知ってほしいこと...
 - 災害が発生したとき、私たちには 何ができるのでしょうか?



今、災害が起きたら… あなたはどうしますか?



どこに行けばいいの? 誰が助けてくれるの? 家族との連絡は? 食料・水・トイレは?

誰もが同じ不安を抱えています…

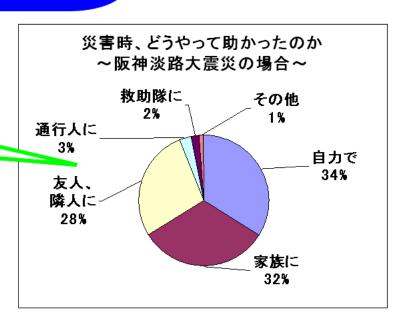
一人では分からないこと・不安なこと・出来ないことを、みんなで一緒に考え災害に備えていくことが「安心」につながります。こうした日頃の取り組みが、いざというときに自分や家族・ご近所さんの命を救います。

自分で備える!みんなで備える!

災害時、公的機関だけでは命を 救うことはできません。

命を守るために大切なことは

- ・自分や家族で備えること…
- ・ご近所で備えること…



命を守るために必要なこと…

- ・日頃からのご近所力…阪神淡路大震災では救助された方のうち約60%が、家族やご近所さんに救助されています。
- ・耐震化…阪神淡路大震災の犠牲者の8割強が建物倒壊などによる圧死によるものでした。

この"ご近所力"を形に!

災害が起こる前に…

発災直後、消防車や救急車が来てくれるとは限りません。大阪狭山市社会福祉協議会では、 阪神淡路大震災から学んだ日頃からのご近所力が必要だと考え、「災害ボランティアネット」を 設置し、ネットワーク化を推進しています。

大阪狭山市では地域防災計画を策定し、自主防災組織の組織化を推進しています。

また、公共施設の耐震診断・耐震化工事を進め、災害発生時の支援協力協定を6事業者と結 んでいます。

社協は、災害発生時には市と締結した「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定書」に基づき「災害ボランティアセンター」を設置します。

災害ボランティアネットとは...

- "災害"というキーワードを基に、希薄化している地域コミュニティを再生し、日頃からのご近所ネットワークを構築するため、また、避難所や災害ボランティティアセンターが円滑に運営できるよう地域に根ざした活動を進めている団体が集まり「災害ボランティアネット」を立ち上げました
- 災害ボランティアネットでは3つの部会を設置し、普段から各構成団体の連携・ネットワークづくりを進め、人材の養成や防災訓練等を実施します。さらに、他の公的機関やNPOとも密接に連携を進めます。

災害ボランティアネット

地域支援 部会

- ・訓練等の計画と実施
- ·支援体制構築
- ・関係機関との連携強化
 - ・要援護者の支援

人材·情報 部会

- ・人材の確保、養成、管理
- ·訓練資金、活動機材 の調達

調査·研究部会

- ・防災に対する意識向上
 - ・継続的な啓発活動
 - ·調査研究

☑ どんな方(団体)で構成しているの?

- ·地区長会
- ·自主防災組織連絡協議会
- ・まちづくり円卓会議
- ·民生委員児童委員協議会
- ・ボランティアグループ連絡会
- ·地区福祉委員会委員長連絡会
- ・商工会
- ・医師会
- ・市民活動支援センター
- ・地域包括支援センター
- ·大阪府社会福祉協議会
- ·大阪狭山市役所
- ·大阪狭山市社会福祉協議会

上記団体の推薦者(順不同)



今後の具体的な活動は?

- ・研修会の開催
- ・各種防災訓練の実施
- · 啓発活動 等

災害時におけるボランティア活動支援に関する協定書とは…



大阪狭山市と社協では、平成23 年8月2日に、地震や台風により大きな被害が発生したとき、両者が協力して行う「災害ボランティアセンター」の設置運営に関し、必要な事項を定めています。

Q. 災害ボランティアセンター(以下「センター」といいます。)は、どんなときに設置されますか?

A. 市内で大規模な地震や台風・大雨等による被害が発生した場合で、市がセンターの設置が必要と認めたときです。

社協に対するセンター設置 の要請は、市の災害対策本 部会議で決定します

Q. どこに設置しますか?

A. 市役所南館です。 (※南館が罹災し設置が困難な場合は、別の場所を確保します。)

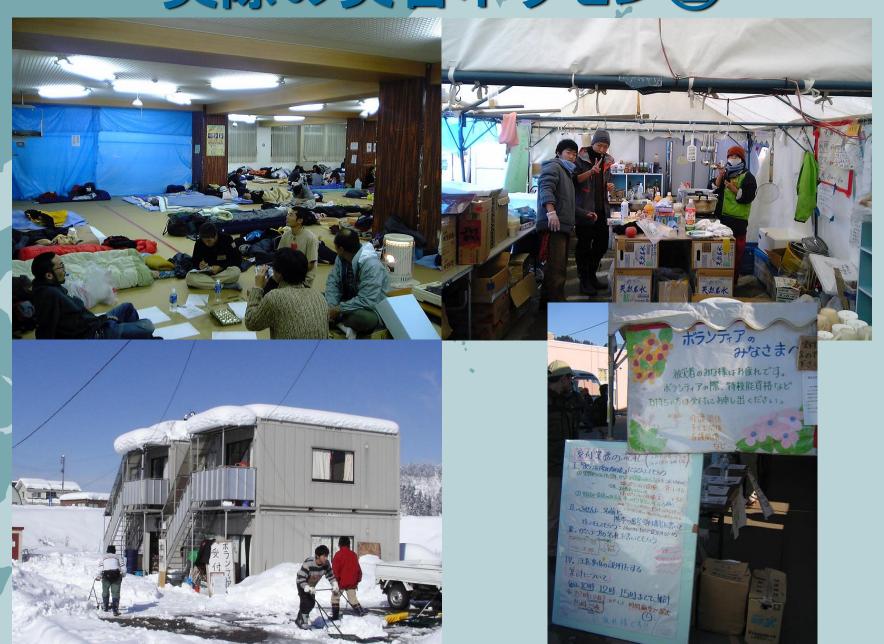
Q. センターはどんな活動をしますか?

A. 被害を被った市民の皆さんや地域の支援活動を行います。 避難場所での生活支援や要援護者の支援など多岐にわたります。

実際の災害ボラセン①



実際の災害ボラセン②



実際の災害ボラセン③



実際の災害ボラセン④

